

本編に登場する主要な人物及び地域に関する地図①〜③

## 第七章 原始村に住む

元東電社員の回顧 原子力発電所の本当の姿

考えます、いろいろ／東電の人がいるよ／ぶっちゃけよう／毒がどんどんできる／津波はタブーなんだ／検査官を丸め込む／違反ではありません／それが解釈ですの  
で／そこは見えて見ぬふり

原子村から原始村へ

6割が捨てられる／目標 自然に還る／火さえあれば何とか／根源から覆された／  
不便でも自由だった／何が正しいかなんて

## 英国での検問

莫大な費用をかけて英仏と日本を往復する

## 使用済み核燃料

いきなり警官が／船主は幽霊会社／核運搬船に機関砲／配当率は50%が基本／港へ10キロ、原発道路／一瞬で雨が蒸発／残された「お荷物」／再処理にこだわる／怖さ、知らなかった／ゾウさんとスリラー／値のはるMOX燃料

## 独占企業が自在に電気料金を設定する不合理

ごみに63億円払う／「節電店長」の怒り／「中部電力にかえて」／のらりくらりですよ／これは威嚇です／隣と同じにしてくれ／自由化すれば変わる／ガス中毒か、感電か／送電網めぐり激突／値上げ「寝耳に水」／変圧する権利ある／すべて新顔が落札／値上げ率のマジック／処分場、ドーム100個分

## ロスの灯り

貧しい北辺の地、下北を一大工業地帯へ

大きなたまげ／「米国の象徴を見た」／兵士を見送るように／布団に雪が積もる

／トヨハラよいところ／斗南藩士の末裔／官軍と賊軍の差／我田引水、何のその／  
「やりましようや」／村中が新築ラッシュ／「田植え終わったか」

## 幻の工業開発の穴埋めとなった 核燃料サイクル基地

「鹿島開発を見に行こう」／「無責任収用だ」／「生きるための努力です」／選挙には勝ったけど／乗り気じゃなかった／池田勇人の苦痛／空き地があったから／「知事にぶつけるさ」／「哀れな道」発言で大荒れに／「例の無い干渉選挙」／やっぱ戻ると決心／女たちのキャンプ／大部屋宿舎もつくった／夢の跡、死の灰だけ／な  
りわいを取り戻す

## 第十章

### 長安寺の遺骨

「死んでも帰れない。生きていても帰れない」

死んでも帰れない／爆発した！ 戻るな！／とにかく寒かった／墓で眠らせたいけど  
／母はみるみる弱った／26歳、東海村での死／「あっせんしただけ」／認められぬ  
火葬代／根こそぎ奪われた／交錯する望郷の念／旧満州の修羅場、再び

ふるさとへの帰還をあきらめ、

生活再建へ向かい始めた被災者

不安驅るバリケード／政府の要請蹴った／遅い、安い、不誠実／命の値段だなんて  
／へこんでいく人々／引退なんてできない／75歳、「庭元」の死／沖繩に逃げたけれ  
ど／夫に泣いて訴えた／毎日届いた無料弁当／元氣ならそれでいい／そんな線引き  
なんて／たったの8万円／落ち着きたいのです

## 第十一章

### 遅れた警報

大津波襲来知らされず命を落とした多くの人々

水圧計は無視された／3メートルなら大丈夫だ／助けた子も流された／M7・9への  
思い込み／とりあえず、2倍に／伝わらない「逃げる」／車飛び降り、走る／誰かいつ  
かーっ！／モニターに異変／マニュアルに従った

原発避難指示によって阻まれた住民の救出

「まだ生きてる人が」／搜索できぬまま避難／「すまん」泣いた／10日間は生きていた  
／助かる人、死なせた

## 脱原発の攻防

2030年の原発依存度をめぐる激しい攻防

ゼロか、20%以上か／維持派が多いけれど／幻の賛否半々リスト／異論、あつてい  
い／15%案「入れよう」／先人は警告していた／終止符という希望

原発は本当に必要なのか。

事故によって改めて突きつけられた疑問

今こそ正確な情報を／危ないものは高い／無責任体制と闘う／秘密会合で大荒れ／  
「日米は核の共同体」／ムラの体質に違和感／コストどっちが得

福島第一原子力発電所事故全記録 [2011年12月～2012年5月]

おわりに

